

令和2年度鹿児島県地方創生推進有識者懇話会 議事要旨

1 開催日時

令和2年9月3日（木）9:30～12:00

2 開催場所

鹿児島県庁6階大会議室

3 議事概要

(1) 藤本企画部長あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 効果検証等及び意見交換

- ・ 地方創生推進交付金（令和元年度事業）について （資料1）
- ・ 地方創生拠点整備交付金（平成29年度事業及び平成30年度事業）について （資料2）
- ・ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）（令和元年度事業）について （資料3）
- ・ 鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について （資料4）

4 主な意見等

《地方創生推進交付金について（資料1）》

○ 食の宝庫かごしま食と農の競争力強化事業

- ・ 香港の民主化デモ等の影響で牛肉輸出量が減少しており、予測は難しいがカントリーリスクに備えて、ターゲットとするマーケットの分散等の対応が必要になってくるのではないか。

《地方創生拠点整備交付金について（資料2）》

○ 「鹿児島と世界をつなぐ」国際クルーズ受入観光拠点施設整備による地域活性化計画

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく国際クルーズ船の寄港は見込まれないので、今のうちにクルーズ船乗客による消費額を増やすような仕掛けを検討する必要があるのではないか。

《地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について（資料3）》

○ かごしまの未来を担う人材育成プロジェクト

- ・ 大学等入学時奨学金制度について、県内就業者の増加のためには大切な制度だと思うので、更なる周知に努めていただきたい。

《鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について（資料4）》

○ 保育所待機児童数

- ・ これから労働人口も少なくなり女性の力は非常に大事だと思うので、出産後に再就職して働きたいという方のために、保育園を充実させて欲しい。

○ 男性の育児休業取得率

- ・ 女性が働きやすい環境作りだけでなく、男性も働きやすく家事育児に参加できるような視点を踏まえた取組も進めていただきたい。

《その他》

- ・ 第1期戦略の総括として見たときに、関係部・関係機関との連携が進んだ成果が出ているのではないか。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による需要や人の動きなど、第1期戦略の総括の中で見えてきたものを、今後の施策に反映していただきたい。
- ・ 第2期戦略策定時には予測できなかった新型コロナウイルス感染症の影響等による社会情勢の変化が現れているため、今年度の実績に基づく次回の効果検証までには、国の動向等も踏まえ、評価指標の修正や見直しの検討を行う必要があるのではないか。

《まとめ》

外部有識者からの評価として、前年度に地方創生関連交付金等を活用して実施した事業については、「総合戦略の目標達成に有効であった」、第1期の地方創生の取組については、「一定の成果を上げているものと考えられる」との取りまとめがなされた。